

新たな自動車環境対策の必要性(第1章)

1 現状と課題

○ 大気汚染の現状

- 大都市圏の幹線道路近傍を中心に環境基準の未達成地域が残っている。
- この大気汚染は、測定局のごく近傍に限定されたものではなく、一定程度の広がりを持つ地域に、線状、島状に広がっていると考えられる。

○ 将来予測

- 現行の自動車環境対策を継続しても、幹線道路沿いに大気汚染が残存
- 通常の排出ガス規制では、短期間での改善は困難。

2 大都市圏における大気汚染の原因

1. 大都市圏における自動車の集中的な使用に伴い発生する大気汚染物質が、大都市圏の大気汚染の大きな原因
2. 自動車NOx・PM法の車種規制の対象となっていない乗用車類が自動車から排出されるNOxの排出量(平成19年度)の約2割を占める。
3. ディーゼル乗用車を除いた乗用車類に関しては、保有台数としては4割に満たないS53年規制車がNOx排出量の9割を占めている。
4. 大都市域に流入する自動車NOx・PM法基準非適合のトラックへの対策が求められている。

3 追加的な自動車大気汚染対策

(1) 局地を包含する地域を対象とする追加の対策を講じ、環境基準の達成を期する必要性

- ・ 現行の自動車環境対策を継続しても、幹線道路周辺に大気汚染が残存。
- ・ 大気汚染は、測定局のごく近傍に限定されたものではなく、一定程度の広がりを持つ地域に、線状、島状に広がっている。

(2) 新たな制度の対象とすべき自動車

- ・ これまでの車種規制対象となっていないガソリン乗用車や域外登録車を含めた措置が必要。
- ・ 自動車NOx・PM法改正(平成19年)の際の流入車対策についての附帯決議及び関係都道府県からの要望。

(3) 新たな制度の枠組み

- ・ 排出ガス基準による使用に対する規制は、使用の必要性の高い者と希に使用する者と一律の規制をすることは、過度の規制。
- ・ 排出ガス基準による保有に対する規制は、使用頻度の低い者にまで一律規制することは、過度の規制。
- ・ 大気汚染物質は、自動車の保有ではなく、使用によって排出されることから、自動車の使用に対して、大気汚染への寄与度に応じて経済的負担を求めることが妥当

制度の概要と効果 (第2章・第3章・第4章)

1 目的

自動車の排出ガスによる大気汚染が著しい地域において、排出ガスに係る自動車の性能に応じて地域内での車両の使用による経済的負担の差別化を図ることによって、地域内使用車両の排出ガス負荷に応じた使用の抑制を図り、もって、自動車の排出ガスによる大気汚染を防止する。



○ 基本的考え方

- ①自動車の使用、自動車からの有害物質の排出量に応じた課金
- ②社会的受容性、③制度の透明性
- ④制度の明確性、⑤制度の公平性
- ⑥制度の簡易性、
- ⑦情報の適切管理

2 ロードプライシング制度の概要

(1) 課金対象地域内において使用される自動車に対して、適用される自動車の排出ガス基準に応じて課金額を決定

- ・ 電気自動車、路線バス、スクールバス、通勤用バス、緊急自動車は、対象外。
- ・ 自動車NOx・PM法基準不適合車に対する重課
- ・ 課金額は、乗用車で年間1万円程度を想定
- ・ S53年規制以前車や自動車NOx・PM法基準不適合車からの段階的導入等
- ・ 物流事業者、課金対象地域内の居住者、事前・一括納付に関する割引

(2) 地域内使用車両は、年間1万円程度(週毎の定額制が有効)

(3) 大気汚染防止法及び自動車NOx・PM法に規定する施策だけでは、大気環境基準が達成できていない地域であって、大気汚染の状況、自動車の使用状況を考慮して地方自治体の意見を基に指定

(4) 国で必要な法令の整備及び課金の納付管理に必要なシステムの整備を行い、これを地方自治体が自らの判断において、実施できる制度。

(5) 自動車の登録上の使用者の申告により納付

(6) カメラを使用して自動車を撮影し、ナンバー自動読み取り装置により解析し、自動車の走行状況を適確に把握するエリア方式。

3 効果

- 1 自動車使用抑止効果による大気汚染物質の削減を期待
- 2 公共交通手段へのシフト
(交通渋滞の解消等)
- 3 課金収益による環境対策の促進
課金収入の地方自治体への譲渡等による都道府県の大気汚染対策の推進、電気自動車等の次世代自動車普及促進、物流等事業者に対する配慮

【試算】(対象地域は自動車NOx・PM法対策地域、対象年度は平成32年度)

- ① NOx排出量削減量は**18,606t/年**
(対策前全自動車排出量の26.2%)
- ② 平成32年度では全局で環境基準を達成
- ③ CO₂排出量削減量は、**5,558千t/年**
(対策前全自動車排出量の11.9%)